

中学部3年 学年だより

Plus Ultra～さらなる前進～

令和8年2月10日(火) NO.4

生徒推進地域交流会

12月22日(月)に中村町自治会の皆様をお招きして交流会を行いました。今回の交流は、生徒が地域の方々と関わる中でコミュニケーション力を伸ばすこと、そして生徒会を中心に主体的に企画・運営することで、協働する力や社会性を身に付けることを目標として実施しました。

交流の当日は、地域の年配の方々に対して、あいさつや言葉遣いに気を配り、適切な態度でコミュニケーションを図っていました。また、生徒も自治会の皆様も終始笑顔で過ごし、和やかな雰囲気の中で活動することができました。この経験を通して、生徒一人一人が達成感や満足感を得るとともに、地域とのつながりの大切さを実感することができたと思います。



<新春>書き初め大会

1月9日(金)に年の初めの行事として、中学部書き初め大会を実施しました。当日は、外部講師としてお招きした水元先生より、行書のデモンストレーションをしていただき、筆の運びや字形の整え方を間近で見ることができました。

書き初め大会ならではの静かな雰囲気の中、一人一人が真剣な表情で筆を運んでいました。皆、途中で投げ出すことなく最後まで取り組み、やり遂げたときには達成感のある表情を見せていました。書き終えた後は、水元先生と校長先生による作品の審査が行われ、成績発表と表彰を通して、努力の成果を称え合うことができました。水元先生から「続けて取り組むことの大切さ」についてのお話をいただき、書き初めを通して得た学びを、これからの学校生活につなげていこうという気持ちを新たにしていました。



ボッチャ巡回指導

1月14日(水)障害者スポーツ協会の方を講師としてお招きし、ボッチャの指導をしていただきました。

当日は、小学部高学年と中学部で2チームに分かれて、練習や試合に取り組みました。試合では、協会の方が用意してくださったボッチャ専用シートや試合球を使用し、実際の競技に近い環境の中で活動しました。

皆、練習の段階から、一投一投に集中し、狙いを定めながら真剣に取り組むことができました。試合では、相手や味方の投球を見ながら「どこを狙えばよいか」「どの強さで投げるか」を考え、試行錯誤しながら工夫する姿が多く見られました。後輩に声を掛けたり、ルールを守りながら試合を進めたりする中で、パラスポーツの魅力と、仲間と協力して取り組む楽しさを実感する貴重な機会となりました。



最上級生として

今年度、校内のさまざまな場面で、三年生が下級生や小学部幼稚部の子達に、優しく声をかけたり、困っている様子に気づきさりげなく手助けをしたりする姿が多く見られました。言葉だけでなく、表情や態度、行動を通して相手を思いやる姿は、聴覚特別支援学校ならではの大切なコミュニケーションの力が、しっかりと育っていることを感じます。これから先、卒業後の生活では、これまで以上に多様な人と関わる機会が増えていきます。学校生活の中で身に付けてきた、相手をよく見て考え、丁寧に関わろうとする姿勢は、今後の進路や社会生活においても大きな力となるはずです。最上級生として積み重ねてきた経験と自信を胸に、それぞれの道で自分らしく歩いていくことを心から願っています。

これまで本校で過ごした年月は、生徒一人一人にとってかけがえのない財産です。残り少ない学校生活を大切にしながら、卒業の日を迎えてほしいと思います。

